



分散避難を検討しましょう！



分散避難とは、**避難所以外**（自宅、親戚、知人の家など）へ分散して避難することです。区における避難所の密集回避のため、また、避難所での環境の変化などによって体調を崩さないために、分散避難を検討しましょう。

分散避難の検討順



※大田区防災ハザードマップ (P.22)
避難行動が判定できるフローチャートも参考にしてください。



①在宅避難(屋内待機・垂直避難)

- ☑「浸水・倒壊の危険がない」「丈夫な建物に住んでいる」場合は、自宅に留まりましょう。
- ☑戸建てなどで浸水する階がある場合は、浸水しない階へ避難しましょう。
- ☑河川の氾濫などで在宅避難が長引く場合を考えて、最低でも3日分、できれば1週間分の食料や生活用品を備蓄しましょう。



②縁故等避難

- ☑家族や親戚、知人の家、ホテルや旅館などへ避難しましょう。
- ☑日頃から避難先の人と連絡を取りましょう。
- ☑雨風が強くなる前や日没前に、浸水地域外へ移動しましょう。



★矢口地区のポイント★

矢口地区は多摩川に近く、浸水が想定される区域です。家族や親戚の家など、浸水が想定されない場所へ避難できないか検討しましょう。特に、「家屋倒壊等氾濫想定区域」内の方は、警戒情報を確認し、早めの避難を心がけましょう。



③水害時緊急避難場所へ避難

- ☑日頃から非常持出品を用意し、荒天になる前に避難所へ避難しましょう。
- ☑食料や水のほか、タオルなどを必ず持参しましょう。
- ☑原則、徒歩で避難しましょう。 ※水害時緊急避難場所が満員になる可能性もあります。

身体を拭くだけでなく、防寒・敷物・目隠し等にも使えます。



防寒対策

2・3面で自宅に近い避難場所はどこか確認しましたか？
水害時緊急避難場所は、自ら避難先を確保できない人や避難行動要支援者と付添者のための避難先です。
ご家庭の事情も考えて、適した避難先を見つけておきましょう。



略して YBT

Y aguchi Bousai Talk とーく

～YBT第7号～ ホームページにてバックナンバー公開中！

前回発行のYBT第6号(令和6年1月19日発行)では、**矢口地区の震災被害想定等**について紹介しました。過去のYBTは矢口特別出張所でお配りしております。



矢口地区の防災協定

防災協定とは、大地震などの災害発生時、人的・物的援助などを受けられるよう締結される救援協定のことで、矢口地区において「4つの防災協定」を結んでおります。今回は社会福祉法人 白陽会 ゴールデン鶴亀ホーム 志田施設長から「相互応援協定」の紹介です。

災害時相互応援協定について

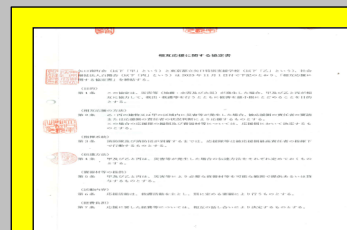
日本は歴史的に天災にしばしば見舞われてきています。災害に遭うたびに教訓を得て、更に準備を重ねてきましたが終わりはありません。天災は忘れたころにやってくると言われます。

このような状況の中、施設の運営は周辺地区の住民や近隣施設との助け合いが必要です。この度、私共、社会福祉法人白陽会は矢口南町会、東京都立矢口特別支援学校の3者で相互応援協定を結び、災害時等に備える準備をいたしました。

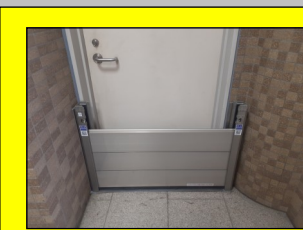
また、当施設では昨年度、浸水防止のためのアルミ製の止水板の設置工事を実施しました。大田区のハザードマップによると多摩川の堤防が決壊した場合、ここ矢口一丁目辺りは最大50センチほど浸水すると予想されています。事前に止水板を設置することで、館内への浸水を防ぐことが可能となります。

今年度は停電に備え、発電機の設置を計画しております。今後ご利用者様が安心して生活できるよう、備えを怠ることなく強化してまいります。

社会福祉法人白陽会 ゴールデン鶴亀ホーム 施設長 志田宏喜



相互応援協定書



ゴールデン鶴亀ホームの止水板

その他にも矢口地区では、以下の自治会・町会が社会福祉法人と「防災協定」を締結しています。

- ①今泉自治会 ②古市町会
- ③下丸子四丁目町会

詳しくは、過去のYBT(第4号)をご覧ください。
(矢口特別出張所でお配りしております)。

過去のYBTはこちら



たまちゃん の防災リュックチェック表

玄関や寝室に配置しましょう

- 水
- 食品
- 防災用ヘルメット
- 衣類・下着
- レインウェア
- 紐なしのソックス靴
- 懐中電灯

- 携帯ラジオ
- 予備電池・携帯充電器
- マッチ・ろうそく
- 救急用品
- 使い捨てカイロ
- フランクット
- 軍手

- 洗面用品
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- タオル
- ペン・ノート
- マスク
- 手指消毒用アルコール
- 体温計

最低3日分は必要です！！

矢口地区の防災情報について、アプリで確認してみよう！
ダウンロードは今すぐこちらから！

2024年4月15日~
リニューアル!
防災アプリで
防災行政無線(放送機)の
放送内容が
確認できるようになりました!

大田区防災
防災アプリアイコン

iPhoneの方 Androidの方

避難に関する情報

避難レベル	とるべき行動	大田区が発表	実施すべき発表
5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保	大田特別警報(土砂災害、浸水) 浸水発生警報 高潮に発生する情報 ※警戒レベル5相当
~~~~~(警戒レベル4までに必ず避難! )~~~~~			
4	危険な場所から 全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報 浸水発生警報 高潮発生警報 ※警戒レベル4相当
3	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	大田警報(土砂災害) 浸水警報 高潮発生警報 ※警戒レベル3相当
2	自らの避難行動 を確認	-	大田注意警報 浸水注意警報 高潮注意警報 ※警戒レベル2相当
1	災害への心構え を高める	-	警報注意警報(警報発令の可能性がある) ※警戒レベル1

**避難情報を理解しよう**

**避難のポイント!**  
震災時とは異なり、  
被害が局所的に発生するため、  
自分で判断し避難することが重要です。

- ①公共交通機関が動いているうちに避難しましょう。
- ②明るいうちに避難しましょう。
- ③暴風になる前に避難しましょう。
- ④異常を発見したら避難しましょう。

ハザードマップは  
こちらから→

**ハザードマップで自宅と周辺に水害リスクが  
想定されているか確認しましょう。**

矢口地区等は家屋倒壊等氾濫想定区域に  
指定されている箇所があるため、注意してください。  
家屋倒壊等氾濫想定区域とは、氾濫した水の流が直撃  
した場合に、標準的な木造家屋の倒壊等をもちたような  
氾濫が想定される区域のことです。

家屋倒壊氾濫想定区域に指定されていますか?  はい  いいえ

ハザードマップ (R6. 3月発行保存版)	被害想定	浸水の深さ	浸水継続時間
P28~P31	多摩川の氾濫	最大 m	時間
P32~P35	高潮の被害	最大 m	時間
P36~P45	中小河川の氾濫	最大 m	

**<避難場所> 4ページを参考に決めておきましょう。**

時間に余裕がある時	緊急時

# 矢口地区の水害時 緊急避難場所を確認しよう

**大田区民プラザ**  
水害時のみ避難所として  
開設します。  
2階以上は避難できます。

**千鳥小学校**  
2階以上は避難できます。

**千鳥小学校**  
2階以上は避難できます。

**日本体育大学荏原高等学校**  
水害時のみ  
補完避難所(※)として  
開設する場合があります。

**矢口西小学校**  
2階以上は避難できます。

**矢口区民センター**  
水害時のみ避難所として  
開設します。  
2階以上は避難できます。

**矢口中学校**  
2階以上は避難できます。

**矢口小学校**  
2階以上は避難できます。

**矢口小学校**  
2階以上は避難できます。

**多摩川小学校**  
家屋倒壊等氾濫想定区域です。  
多摩川の堤防が決壊するなどして氾濫した水の流が  
直撃した場合に、建物の倒壊・流出が想定されます。  
危険なので絶対に避難しないでください。

※補完避難所とは、近隣避難所が満員になった場合に開設される避難所です。